

平成26年度  
宗像市教育委員会事業点検・評価報告書

平成27年12月

宗像市教育委員会

## 目 次

はじめに .....	1
1 教育委員会の活動について .....	2
(1) 教育委員会会議の開催状況 .....	2
(2) 教育委員会会議での審議状況 .....	2
(3) 教育委員会活動の概要 .....	11
(4) 教育委員会に関わるその他の活動 .....	12
2 点検評価について .....	13
(1) 教育評価委員会開催概要 .....	13
(2) 評価作業 .....	13
(3) 教育評価委員名簿 .....	14
(4) 評価基準 .....	14
(5) 対象事業及び評価結果 .....	15
(6) 教育評価委員会による点検評価結果の総括 .....	16
(7) 点検評価結果及び対応方針 .....	18

### はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表し、また、点検及び評価を行うに当たっては教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっている。

宗像市教育評価委員会では宗像市教育委員会から委任を受け、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するために、教育委員会の事務事業について点検及び評価を実施した。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 1 教育委員会の活動について

### (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「定例教育委員会」を、また必要に応じて臨時教育委員会を開催している。平成26年度については、会議を合計17回開催した。

- ①定例教育委員会・・・12回
- ②臨時教育委員会・・・5回

### (2) 教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務については、同法第25条及び「宗像市教育委員会事務委任規則」の規程等に基づき、平成26年度は審議案件が72件、協議案件が11件、報告事項が153件であった。

#### 【審議案件の内訳】

- ①教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針 13件
- ②教育委員会規則の制定及び改廃 32件
- ③職員（教職員を含む）の人事に関する事 4件
- ④法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 15件
- ⑤教科書の採択に関する事 1件
- ⑥その他 7件

### 平成26年度 教育委員会審議案件等一覧表

#### ①審議案件

議案番号	議 題	委員会名
第1号	第3地区教科用図書採択協議会委員の選任について	4月定例
第2号	宗像市少年少女海外派遣使節団選考委員の選出について	4月定例
第3号	宗像市少年少女海外派遣研修事業派遣指導員の選出について	4月定例
第4号	宗像市民図書館協議会委員の選任（案）について	4月定例
第5号	宗像市スポーツ推進委員の選任（案）について	4月定例
第6号	平成26年度学校医等の委嘱について	4月定例
第7号	宗像市教育委員会の研究指定・委嘱校について	4月定例
第8号	平成26年度教育施政方針（案）について	5月定例
第9号	宗像市スポーツ推進条例の制定について（諮問）	5月定例
第10号	宗像市附属機関設置条例の一部改正及び宗像市総合体育館整備審議会規則（案）の制定について	5月定例
第11号	宗像市就学指導委員会委員の選任（案）について	5月定例
第12号	宗像市幼児教育審議会委員の選任（案）について	5月定例
第13号	学校図書館推進協議会委員の選任（案）について	5月定例

議案番号	議 題	委員会名
第14号	宗像市教育評価委員会委員の選任（案）について	5月定例
第15号	宗像市教育委員会教育委員長の選挙について	5月定例
第16号	宗像市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	5月定例
第17号	宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例（案）について	6月臨時
第18号	宗像市立学校位置及び通学区域審議会規則の一部を改正する規則（案）について	6月臨時
第19号	宗像市スポーツ推進委員の選任（案）について	6月定例
第20号	宗像市学校給食審議会委員の選任（案）について	6月定例
第21号	宗像市教育委員会委員の辞職について	7月臨時
第22号	宗像市教育委員会教育長の任命について	7月臨時
第23号	宗像市社会福祉協議会理事の推薦について	7月臨時
第24号	宗像市少年少女海外派遣研修事業派遣指導員の選出について	7月臨時
第25号	平成27年度使用第3地区小学校教科用図書の採択について	7月臨時
第26号	宗像市総合スポーツセンター整備審議会委員の選任（案）について	8月定例
第27号	宗像市総合スポーツセンター基本構想・基本計画の策定について（諮問）	8月定例
第28号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（案）の制定について	8月定例
第29号	宗像市学校教育基本計画骨子（案）について	9月定例
第30号	宗像市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	9月定例
第31号	宗像市郷土文化学習交流館協議会委員の選任（案）について	9月定例
第32号	宗像市学校教育基本計画（案）について	10月定例
第33号	宗像市第Ⅱ期小中一貫教育の基本方針（案）について	10月定例
第34号	平成26年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について	10月定例
第35号	宗像市史跡保存整備審議会委員の選任（案）について	11月定例
第36号	宗像市文化財保護審議会委員の選任（案）について	11月定例
第37号	宗像市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則（案）について	11月定例
第38号	宗像市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則（案）について	11月定例
第39号	宗像市立学校児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則（案）について	11月定例
第40号	平成27年度教育施政方針（案）について	1月定例

議案番号	議 題	委員会名
第41号	平成27年度福岡教育事務所管内教科用図書調査研究協議会委員の推薦について	1月定例
第42号	宗像市スポーツ推進条例(案)の制定について	1月定例
第43号	宗像市スポーツ推進委員に関する規則の一部を改正する規則(案)について	1月定例
第44号	宗像市体育施設条例の一部を改正する条例(案)について	1月定例
第45号	宗像市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則(案)について	1月定例
第46号	宗像市立学校の施設の開放に関する条例の一部を改正する条例(案)について	1月定例
第47号	宗像市立学校の施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則(案)について	1月定例
第48号	(仮称)「福津市勝浦浜海洋スポーツセンター」を宗像市民の利用に供することにに関する協議について	1月定例
第49号	宗像市いじめ防止基本方針(案)について	2月臨時
第50号	宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例(案)について	2月臨時
第51号	宗像市いじめ防止対策推進委員会規則(案)の制定について	2月臨時
第52号	宗像市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱(案)の制定について	2月臨時
第53号	宗像市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第54号	宗像市教育委員会会議規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第55号	宗像市教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第56号	宗像市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する条例(案)について	2月臨時
第57号	宗像市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第58号	宗像市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令(案)について	2月臨時
第59号	宗像市教育委員会公印規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第60号	宗像市教育委員会の所掌事務に係る教育行政に関する相談に関する事務を行う職員を指定する規則の一部を改正する規則(案)について	2月臨時
第61号	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の市町村別結果の公表について	2月定例
第62号	宗像市不祥事防止対策検討委員会設置要綱(案)の制定について	2月定例
第63号	機構改革に伴う関係規則の整備に関する規則(案)について	2月定例
第64号	宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会規則を廃止する規則(案)について	2月定例
第65号	宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会規則(案)の制定について	2月定例
第66号	宗像市市民文化・芸術活動審議会規則を廃止する規則(案)について	2月定例
第67号	宗像市市民文化・芸術活動審議会規則を廃止する規則(案)について	2月定例

議案番号	議 題	委員会名
第68号	宗像市立小中学校教職員の人事異動について	3月定例
第69号	宗像市教育委員会事務局の指導主事の割愛について	3月定例
第70号	宗像市教育委員会事務局への社会教育主事の配置について	3月定例
第71号	宗像市教育委員会事務局員の人事異動について	3月定例
第72号	総合教育会議及び大綱の策定に関することを教育委員会の補助機関たる職員に補助執行させることについての協議について	3月定例

## ②協議案件

NO	議 題	委員会名
1	平成26年度教育施政方針骨子（案）について	4月定例
2	教育委員会事務の管理及び執行状況に関する点検及び評価のあり方について	4月定例
3	宗像市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメントの実施について	6月定例
4	宗像市学校教育基本計画骨子（案）について	8月定例
5	宗像市スポーツ推進条例（案）及びスポーツ都市宣言（案）のパブリックコメントの実施について	11月定例
6	宗像市学校教育基本計画（案）のパブリックコメントの実施について	11月定例
7	平成27年度教育施政方針骨子（案）について	12月定例
8	宗像市学校教育アクションプラン2015（案）について	12月定例
9	宗像市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリックコメントの実施について	1月定例
10	宗像市学校教育基本計画（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答（案）について	2月定例
11	宗像市スポーツ推進計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果及び案の確定について	3月定例

## ③報告案件

NO	議 題	委員会名
1	宗像市立自由ヶ丘中学校に関する今後の対応について	4月臨時
2	行政報告	4月定例
3	後援報告	4月定例
4	宗像市少年少女海外派遣使節団選考委員会設置要領の一部改正について	4月定例
5	宗像市少年少女海外派遣研修事業業務委託審査委員会設置要領の一部改正について	4月定例

NO	議 題	委員会名
6	平成26年度宗像地区教育力向上推進会議の内容について	4月定例
7	春実施運動会・体育祭の出席について	4月定例
8	平成26年度小中学校校長・教頭名簿及び市費職員配置について	4月定例
9	平成26年4月学級編制基準日の児童・生徒数等について	4月定例
10	小中一貫教育について	4月定例
11	福岡教育大学との連携事業について	4月定例
12	雑誌スポンサー報告	4月定例
13	行政報告	5月定例
14	後援報告	5月定例
15	教職員の不祥事について	5月定例
16	学校における福祉教育への取組みについて	5月定例
17	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の推薦書素案及び包括的保存管理計画素案の提出について	5月定例
18	宗像市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	5月定例
19	宗像市私立幼稚園障害児教育振興事業補助金交付要綱の一部改正について	5月定例
20	平成26年度宗像市立学校児童生徒就学援助実施要領について（	5月定例
21	平成26年度宗像市高等学校等奨学金支給要領について	5月定例
22	第9回宗像市図書館を使った調べる学習コンクールについて	5月定例
23	小学生読書リーダー養成講座について	5月定例
24	標準学級数に関する調査（平成26年5月1日）による児童生徒・学級数について	5月定例
25	宗像市立小中学校における土曜日授業について	5月定例
26	学校改善訪問について	5月定例
27	学校の日における道徳の時間、学級活動公開日一覧について	5月定例
28	5月学校の日について	5月定例
29	福岡教育大学との連携事業について	5月定例
30	雑誌スポンサー報告	5月定例
31	宗像市史編さん審議会規則（案）の制定について	6月臨時
32	行政報告	6月定例
33	後援報告	6月定例
34	学校給食費の滞納者に対する法的措置について	6月定例
35	宗像市学校給食衛生管理マニュアル改訂について	6月定例

NO	議 題	委員会名
36	宗像市少年少女海外派遣研修使節団員選考結果について	6月定例
37	6月21日土曜日授業について	6月定例
38	6月学校の日について	6月定例
39	A L Tの特別配置事業について	6月定例
40	小中一貫教育について	6月定例
41	福岡教育大学との連携事業について	6月定例
42	雑誌スポンサー報告	6月定例
43	今年度の世界文化遺産推薦候補の選定について	7月臨時
44	行政報告	7月定例
45	後援報告	7月定例
46	平成25年度宗像市教育委員会事業成果報告について	7月定例
47	平成26年度宗像市教育委員会事業について	7月定例
48	7月学校の日について	7月定例
49	福岡教育大学との連携事業について	7月定例
50	雑誌スポンサー報告について	7月定例
51	行政報告	8月定例
52	後援報告	8月定例
53	宗像・沖ノ島と関連遺産群の文化庁からの課題の対応について	8月定例
54	宗像市史編さん審議会委員の決定について	8月定例
55	平成26年度中学生職場体験事業（ワクワク WORK）の受入事業所について	8月定例
56	平成26年度宗像市・福津市小学生県外交流使節団について	8月定例
57	平成26年度秋季小・中学校 運動会・体育祭への出席について	8月定例
58	平成26年度小学生読書リーダー養成講座実施報告について	8月定例
59	福岡教育大学との連携事業について	8月定例
60	雑誌スポンサー報告について	8月定例
61	行政報告	9月定例
62	後援報告	9月定例
63	平成26年度全国学力・学習状況調査結果について	9月定例
64	平成26年度教育評価委員会について	9月定例
65	宗像市スポーツ推進計画（案）に関するパブリックコメントの実施状況について	9月定例



NO	議 題	委員会名
66	スポーツ振興くじ助成によるスポーツと地域の活性化に関する調査研究について	9月定例
67	宗像市学校給食食物アレルギー対応児童生徒数推移について	9月定例
68	学校給食費の納入状況について	9月定例
69	平成26年度「ふく・郷土料理給食」の実施について	9月定例
70	9月学校の日について	9月定例
71	小中一貫教育全国サミットについて	9月定例
72	福岡教育大学との連携事業について	9月定例
73	行政報告	10月定例
74	後援報告	10月定例
75	城山中学校改築に係る基本方針を検討する委員会の設置について	10月定例
76	平成26年度宗像市立学校の児童生徒数及び学級数（推計）について	10月定例
77	平成26年度宗像市防災訓練市内小中学校訓練実施内容について	10月定例
78	10月学校の日について	10月定例
79	小中一貫教育について	10月定例
80	平成26年度全体研修・教育講演会アンケート集計結果について	10月定例
81	宗像市民図書館危機管理マニュアルについて	10月定例
82	第9回宗像市図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品について	10月定例
83	雑誌スポンサー報告について	10月定例
84	福岡教育大学との連携事業について	10月定例
85	定期監査の結果について	10月定例
86	行政報告	11月定例
87	後援報告	11月定例
88	宗像市第Ⅱ期小中一貫教育基本方針（案）について	11月定例
89	平成25年度宗像市立小中学校の体力テストの結果について	11月定例
90	平成26年度宗像市ALT配置事業調査報告について	11月定例
91	平成26年度宗像市教育委員会事業の中間報告について	11月定例
92	宗像市子どもの権利の日（11月20日）の取り組みについて	11月定例
93	ジビエ給食の実施について	11月定例
94	城山中学校改築基本方針策定検討委員会について	11月定例
95	次年度実業団女子駅伝大会について	11月定例
96	第9回宗像市図書館を使った調べる学習コンクール事業報告	11月定例

NO	議 題	委員会名
97	読書週間事業報告について	11月定例
98	図書課福岡教育大学連携事業報告について	11月定例
99	雑誌スポンサー報告について	11月定例
100	小中一貫教育について	11月定例
101	11月学校の日について	11月定例
102	福岡教育大学との連携事業について	11月定例
103	行政報告	12月定例
104	後援報告	12月定例
105	宗像市史跡保存整備審議会審議委員の選任について	12月定例
106	宗像市就学援助実施要領の改正について	12月定例
107	図書課定期監査の結果に基づく措置状況について	12月定例
108	図書館まつり報告について	12月定例
109	図書館来館者アンケート調査結果報告について	12月定例
110	平成26年度インフルエンザ様疾患の発生に伴う学校（学年・学級）閉鎖状況について	12月定例
111	ふくおか就学サポートノートについて	12月定例
112	平成26年度宗像市教育委員会研修事業評価と次年度の方向性について	12月定例
113	12月学校の日について	12月定例
114	福岡教育大学との連携事業について	12月定例
115	福岡県立宗像中学校について	12月定例
116	行政報告	1月定例
117	後援報告	1月定例
118	第2次健康むなかた21について	1月定例
119	第2次健康むなかた食育プランについて	1月定例
120	宗像市スポーツ推進条例（案）及びスポーツ都市宣言（案）に関するパブリックコメントの実施結果について	1月定例
121	第22回宗像市少年少女海外派遣研修使節団報告書およびMy Reportについて	1月定例
122	子ども基本条例に基づく学校での取組みについて	1月定例
123	全国調べる学習コンクール審査結果について	1月定例
124	学校給食の残食の現状について	1月定例
125	平成27年度全国学力・学習状況調査について	1月定例
126	小中一貫教育スピーチコンテストについて	1月定例

NO	議 題	委員会名
127	平成26年度インフルエンザ様疾患の発生に伴う学校（学年・学級）閉鎖状況について	1月定例
128	福岡教育大学との連携事業について	1月定例
129	行政報告	2月定例
130	後援報告	2月定例
131	宗像市グローバル人材育成プラン（案）について	2月定例
132	宗像市私立幼稚園障害児教育振興事業補助金交付要綱の一部改正について	2月定例
133	平成25年度宗像市教育委員会事業点検・評価報告書について	2月定例
134	平成26年度宗像市立小中学校卒業式及び平成27年度宗像市立小中学校入学式への出席について	2月定例
135	平成27年度宗像市立学校の児童生徒数・学級数（推計）について	2月定例
136	2月学校の日について	2月定例
137	小中一貫教育について	2月定例
138	福岡教育大学との連携事業について	2月定例
139	行政報告	3月定例
140	後援報告	3月定例
141	宗像市保育料徴収規則の一部改正について	3月定例
142	福岡県学力調査について	3月定例
143	平成26年度宗像市教育委員会ICT機器活用の成果の検証について	3月定例
144	平成26年度宗像市小中一貫教育スピーチコンテスト（最終審査会）の報告について	3月定例
145	平成27年度宗像市立学校の児童生徒数・学級数（推計）について	3月定例
146	平成27年度定例教育委員会日程表（案）について	3月定例
148	平成27年度全国・九州・福岡県 連絡協議会等会議・研修会一覧について	3月定例
149	平成27年度小中学校の主な行事予定について	3月定例
150	宗像市民図書館須恵分館の臨時休館について	3月定例
151	むなかたの次世代リーダー養成塾実施報告について	3月定例
152	3月学校の日について	3月定例
153	福岡教育大学との連携事業について	3月定例

### (3) 教育委員会活動の概要

教育委員は、会議への出席以外に、学校改善訪問、学校の日、各種行事等にも積極的に参加しました。

#### ①学校改善訪問

##### ○福岡教育事務所訪問

- 目的 ・学校や地域の実情に即した教育課程の編成・実施及び校務運営等について指導・助言を行い、公教育としての教育水準の維持向上を図る。  
・学校の教育課程及び経営課題等に応じて指導・助言を行い、各学校の教育活動の充実を図る。

訪問日 6月12日(木)、6月26日(木)、7月8日(火)

訪問先 玄海東小学校、地島小学校、玄海中学校

参加者 福岡県教育庁福岡教育事務所、宗像市教育委員、宗像市教育委員会事務局

##### ○宗像市教育委員会訪問

- 目的 ・重点目標の達成状況を確認するとともに、重点目標に即した教育課程の編成・実施及び校務運営等について協議及び指導助言を行い、教育活動の推進を図る。

訪問日 6月25日(水)、9月11日(木)、9月25日(木)、9月30日(火)

訪問先 自由ヶ丘中学校、中央中学校、東郷小学校、南郷小学校

参加者 宗像市教育委員、宗像市教育委員会事務局

#### ②研修会等

- ・ 4月18日(金) 福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員長研修会(福岡市)
- ・ 8月7日(木) 宗像地区教育関係者合同研修会(宗像市)
- ・ 9月4日(木) 福岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員人権教育研修会(福岡市)
- ・ 10月14日(火) 市町村教育委員会研究協議会(別府市)
- ・ 10月24日(金) 福岡地区小学校算数教育研究大会(宗像市)
- ・ 10月29日(水) 福岡教育大学研究開発プロジェクト(福津市)
- ・ 10月29日(木)～31日(金) 小中一貫教育全国サミット(姫路市)
- ・ 11月7日(金) 生活科・総合的な学習研究大会(宗像市)
- ・ 11月19日(水) 福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育委員長研修会(福岡市)
- ・ 11月21日(金) 防災教育研究発表会(福津市)
- ・ 12月12日(金) 宗像地区教育事務連絡協議会研究発表会(宗像市)
- ・ 2月12日(木) 福岡県市町村教育委員会連絡協議会新任教育委員・新任教育長研修会(福岡市)
- ・ 2月16日(月) 宗像地区教育実践研究合同発表会(宗像市)

(4) 教育委員会に関わるその他の活動（教育委員が出席した主な活動等）

宗像市における各種行事・大会等	
4月	小・中学校入学式
5月	小学校運動会、中学校体育祭、少年少女海外派遣研修使節団選考会、学校の日
6月	市議会6月定例会（本会議、代表質問、一般質問、大綱質疑）、学校の日
7月	人権啓発講演会、同和問題啓発強調月間街頭啓発
8月	教育講演会、少年少女海外派遣研修使節団出発式・解団式
9月	市議会9月定例会（本会議、一般質問、大綱質疑）、小学校運動会、戦没者追悼式、学校の日
10月	学校の日
11月	赤間西小学校創立30周年記念式典、調べる学習コンクール表彰式
12月	市議会12月定例会（本会議、一般質問、大綱質疑）、人権問題啓発強調月間街頭啓発、学校の日
1月	市議会1月臨時会、成人式、宗像地区人権同和教育実践交流会、ジビエ給食試食会
2月	スピーチコンテスト、学校の日
3月	市議会3月定例会（本会議、代表質問、一般質問、大綱質疑）、小・中学校卒業式、ICT公開授業、学校の日

## 2 点検評価について

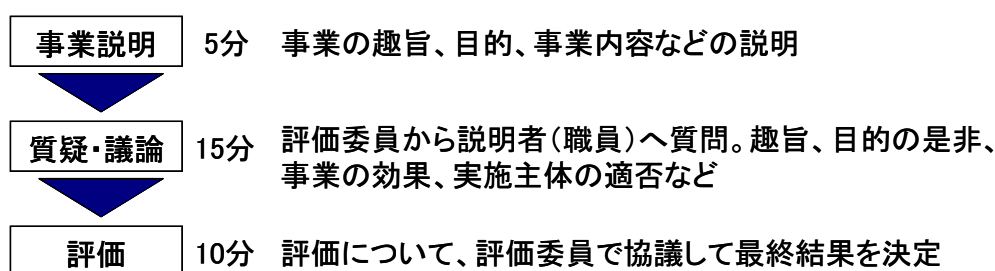
### (1) 教育評価委員会開催概要

点検及び評価にあたっては、市教育委員会の実施している事業について、そもそも必要な事業であるのか、実施方法が効果的、効率的であるのか等の視点から、専門家の視点で改善点の指摘や提案を検討するため、教育評価委員会を次のとおり開催した。

会議	開催日	内容
第1回評価委員会	平成27年5月26日	○平成26年度事業の点検・評価の進め方について ○平成26年度事業の点検・評価対象事業について ○点検・評価 ①学校適応指導教室運営事業
第2回評価委員会	平成27年6月30日	○平成26年度事業の点検・評価 ②青少年海外派遣事業 ③学校・家庭・地域連携食育推進事業 ④学校運営備品整備事業 ⑤教育振興備品整備事業
第3回評価委員会	平成27年7月28日	○平成26年度事業の点検・評価 ⑥成人式事業 ⑦企業スポーツ事業 ⑧体育施設管理運営事業 ⑨教育振興事務
第4回評価委員会	平成27年9月15日	○平成26年度事業の点検・評価 ⑩公民館支援事業 ⑪海の道むなかた館展示活用事業 ⑫海の道むなかた館管理運営事業 ⑬市民図書館管理運営事業 ⑭読書活動推進事業 ○平成26年度事業の評価報告書について

### (2) 評価作業

評価作業は、教育評価委員6名により、担当職員による事業説明、質疑・応答、評価委員の協議による評価の決定までを1事業30分程度で行った。



### (3) 教育評価委員名簿

区分	職名	氏名	備考
知識経験を有する者	委員長	井上 豊久	福岡教育大学教授
	副委員長	堺 正之	福岡教育大学教授
	委員	高橋 清美	日本赤十字九州国際看護大学教授
	委員	釜瀬 計	元福津市立神興幼稚園園長 元宗像市立日の里西小学校長
その他教育委員会が必要と認められた者	委員	東 博子	市民参画等推進審議会副会長
	委員	南 博	北九州市立大学准教授

### (4) 評価基準

評価は、「廃止」「要改善」「現行どおり」「拡充」の中から選択するものとし、それぞれの評価基準は以下のとおりとした。「要改善」については、予算維持または減額も併せて評価することとした。

#### ○廃止

- ①事業の実施に妥当性がない
- ②事業の目的を達成する手段としては、不適當である
- ③事業を実施しても目的とする効果が認められない
- ④目的や求める効果が、他の事業と重複している
- ⑤税金を使って行うべきでなく、サービスの受益者の負担とするべきである

#### ○要改善

- ①事業内容を見直して実施すべきである
- ②事業規模を縮小して実施すべきである
- ③自主財源の確保のために努力を行うべきである
- ④事業の実施についての期限を定めるべきである
- ⑤事業の効率化を行うべきである
- ⑥執行の体制や手法を見直すべきである

#### ○現行どおり

- ①現行どおりの内容で実施すべきである

#### ○拡充

- ①効果が高いなどのため、拡充して実施すべきである

#### (5) 対象事業及び評価結果

昨年度は、平成25年度実施事業（全73事業）のうち、実施について市に裁量の無い事業、ハード整備、扶助的事務、廃止予定事業（全33事業）を対象外とし、40事業の中から評価委員の協議により8事業を選定した。

平成26年度の実施事業は、事業の統合、分割及び廃止により、平成25年度から22事業減少し、評価対象事業が35事業となった。

今年度の点検・評価対象事業は、35事業の中から昨年度評価を実施した8事業を除き、評価委員の協議により選出した14事業である。

平成25、26年度事業で評価していない事業については、次年度に評価対象事業とする。

No	事業名	評価結果	対応方針
1	学校適応指導教室運営事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
2	青少年海外派遣事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
3	学校・家庭・地域連携食育推進事業	拡充	拡充して事業を実施する
4	学校運営備品事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
5	教育振興備品事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
6	成人式事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
7	企業スポーツ支援事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
8	体育施設管理運営事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
9	教育振興事務	現行どおり	現行どおり事業を実施する
10	公民館支援事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
11	海の道むなかた館展示活用事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
12	海の道むなかた館管理運営事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
13	市民図書館管理運営事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する
14	読書活動推進事業	現行どおり	現行どおり事業を実施する



## (6) 教育評価委員会による点検・評価結果の総括

当委員会では、宗像市教育委員会事務局から提出された事業シート及び根拠資料に基づき、今年度の評価対象とされた14事業について、ヒアリング等を含め4回にわたる審議を通して各事業の達成状況を確認し、点検・評価を行った。例年どおり6名の委員が事業シートの記載事項や根拠資料をもとにそれぞれの視点から評価したうえで、意見交換を行い、できるだけ一致した評価結果となることを目指した。評価コメントはそのようなプロセスから生まれたものであり、評価結果や評価コメントと併せて考慮いただきたい。

平成22年度から始まった本委員会による検討も5年目を迎え、昨年度、教育委員会の事業全体をひととおり点検・評価した。今年度からは新規事業の評価とともに再度の事業検証となった。所掌する幼児教育、学校教育、社会教育等の多岐に亘る事業について聞き取りに対応し、根拠資料・データを提供された教育委員会事務局の方々のご苦勞に感謝したい。

今年は教育委員長と教育長を一体化した「教育長」や「総合教育会議」の設置など、新しい教育委員会制度が始まった。それと並行して教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化が求められ、教育に関する「大綱」を首長が策定することとなっている。チェック機能や透明化に関しては、例えば今回評価対象の成人式事業なども市民団体との協働で実施されており、宗像市においては教育を含めたすべての事業で市民参画や協働が先駆的に進められており、連携が早くから図られてきている。

これまでも宗像市では小中一貫教育など先駆的に教育事業全般に取り組み、生涯学習の理念を生かした先進的かつ積極的な事業展開が多く行われており、この点については高く評価されるべきものとする。今回の評価では全体としては14事業の中では「現行どおり」が13事業、「拡充」は「学校・家庭・地域連携食育推進事業」だけであった。拡充が少なかった理由の1つが、財源が限られていることである。しかしながら、個々の事業のレベルでは、その必要性や有効性、費用対効果という視点から見て拡充が求められるのではと考えられる中身や適切な改善・発展が必要と思われるものもあった。

全体として事業実施に大きな問題は無く、前向きに取り組んでいるといえよう。しかし、評価コメントにさらに加える私の意見として、例えば不登校への対応においては今後は市民活動団体とのさらなる連携強化も視野に入れたり、人材育成という視点から「青少年海外派遣事業」をとらえると直接的な宗像市への研修後の貢献だけを求める必要はないが、市や市民への還元がより必要ではと思われる。教育関係の備品に関しては比較的必要に応じて本市は対応しているのではと思われるが、時代の変化に対応するための新規の機器等も求められることも有ろう。

社会教育関連では、スポーツ関係は今年度評価対象は企業スポーツと体育施設に係る事業であったが、スポーツへのかかわりは競技者として、指導者としてだけでなく、観客、経営・運営者、ボランティア等、現在では多様に多層的に関わることが求められている。総合型の地域スポーツクラブは一つのモデルであるが、スポーツに関してはやはり市民主体のスポーツ環境を全体として整えるという事が方向として確認される必要がある。公民館事業では今回評価対象の施設面での支援はある程度なされているが、コミュニティづくりを先駆的に進めている宗像市の場合、コミュニティと連携して公民館の活性化をさらに図っていくことも求められよう。海の道むなかた館は来館者も目標を上回り魅力あるものへの努力が

なされており、図書館も「図書館を使った調べるコンクール」学習の充実など独自の取組を工夫して活性化を図っている。スタッフが専門的・創造的に活躍できることが前提としてあり、今後も継続的に発展していける環境を総合的に整えていくことが必要であろう。

最後に、当委員会による評価結果及び評価コメントの趣旨が尊重され、宗像市の教育の一層の充実につながることを期待する。今後は評価事業に関しては前回評価やコメントへの対応結果を示していくことも必要となろう。

(7) 点検・評価結果及び対応方針

番号	1	事業名	学校適応指導教室運営事業	所管課	教育政策課
事業概要	対象	宗像市内の公立学校に在籍する不登校の児童・生徒			
	目的	個々の児童・生徒に応じた学習や体験活動等を行うことにより、共同生活の中で自立する力を養い、学校生活に復帰できるよう支援する。			
	事業内容 (手法・手段など)	不登校の児童・生徒に対して、通室生への集団適応指導、生活習慣指導、体験活動及び個に応じた学習指導を行い、学校復帰への意欲の醸成、関係機関との連携、保護者支援を行う。 教室運営は室長1名、非常勤委託職員の指導員3名で行っている。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>通室者の学校復帰率が年々向上しており、一定の成果が見られる点は高く評価できる。教室の活用促進について、関係団体等への啓発を強化することにより、相談件数を増加させる必要がある。不登校の子どもの問題には保護者の支援が欠かせないので、本事業で通室者の有無を問わず、保護者同士の分かち合いの場や保護者に対するカウンセリングがあればよいのではないかと考える。</p> <p>教室の取り組みだけでなく、様々な理由により教室を利用していない子どもがいるので、学校や保護者との連携及びスクールソーシャルワーカーの導入により、さらなる教室の活用促進を期待している。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校をはじめ、不登校の児童生徒に関わる関係機関等に対して幅広く周知することで、適応指導教室の活用促進を図る。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの導入に向けて、その活用や校内支援体制のあり方、配置方法等について検証する。</li> <li>・カウンセリングが必要な保護者にはスクールカウンセラーを活用して対応するとともに、不登校支援に取り組む市民活動団体等に関する情報提供を行うなど、保護者が必要とする支援が受けられるようサポートする。</li> </ul>					

番号	2	事業名	青少年海外派遣 事業	所管課	子ども育成課
事業概要	対 象	宗像市内に在住し、引き続き事後研修終了後まで宗像市に在住できる小学6年生～中学3年生			
	目 的	国際的視野を持ち、学校生活や地域社会でリーダーシップを発揮できる次世代層を育成する。			
	事業内容 (手法・手段 など)	市内在住の小・中学生をニュージーランドに派遣し、学校交流やホームステイなどを行うことで異文化交流と生きた英語に触れる機会を提供し、国際的視野を持った次世代層を育成する。 ニュージーランドからの使節団を受け入れ、学校交流やホームステイを行う。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>国際的視野と感覚を持った人材育成は重要であり、宗像市の次世代を育成することが期待できる。事業参加者が研修後も継続して学び、より多くの市民に体験を伝える活動の場として市の国際交流事業に関わる機会を創出することが重要である。市内の高校や大学と連携を視野に入れた事業の検討を行われるよう期待したい。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修及び本研修を含め、グローバル人材育成に努めるとともに、研修後も継続して学びの機会を提供できるよう、市内の学生などを対象とした国際交流事業の実施や案内を行う。</li> <li>・「わくわく体験報告会」などの機会を利用し、子ども達に体験発表の場を提供する。</li> </ul>					

番号	3	事業名	学校給食をととした食育推進業務	所管課	学校管理課
事業概要	対象	宗像市内の公立学校に在籍する児童・生徒			
	目的	児童・生徒が生涯にわたり健康的で豊かな生活を送ることができるようになることを目指し、子どもたちに望ましい食習慣を身に付けさせ、食に関する関心と理解を深めるため、学校、家庭、地域が連携した食育事業を実施することにより、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせる。			
	事業内容 (手法・手段など)	学校、家庭、地域が連携した食育事業に取り組む学校に対して、経費の助成を行う。助成対象は講演会等の講師謝金、講師に対する特別旅費、野菜苗及び資材等の消耗品、見学等のバス借上料である。			
評価結果	<b>拡充</b>				
各委員からの意見等					
<p>子どもたちが望ましい食習慣を身につけることは、将来の健康作りのために非常に重要となるので、より多くの学校で本事業に取り組むとともに、家庭での食育に関する認識を深めるための研修会や講演会の開催を検討して欲しい。</p> <p>学校や地域の特色を活かした事業内容になっている。家庭や地域と連携した事業によって何を指すのか、市として明確な方針を示し、その点から成果を評価していく必要がある。</p>					
対応方針					
<p>拡充して事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学校で学校、家庭、地域連携食育事業が実践されるよう、各学校への周知を図る。また、食育に関する家庭や家族の認識を深めるための研修会や講演会を検討する。</li> <li>・家庭や地域と連携した食育事業について、市として明確な方針と計画を策定するよう努める。</li> </ul>					

番号	4	事業名	学校運営備品整備事業	所管課	学校管理課
事業概要	対象	宗像市内の公立学校の教職員			
	目的	児童・生徒への教育効果の向上のため、宗像市内の公立学校の教職員が円滑に学校運営や管理ができる状態にする。			
	事業内容 (手法・手段など)	机、椅子、OA機器等の学校の管理運営に必要な備品を購入する。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>教育に支障の出ないように計画的に購入がなされている。教育効果の向上や子どもたちが安全に授業を受けられるように備品を整備することは大切であるが、本事業の予算増額は難しいと予想される。各学校の要望を十分に把握し、今後も効果的な整備や効率的な予算執行に努めて欲しい。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の備品要望の把握、精査を行いながら、限られた財源の中で、今後も効果的な備品の整備、効率的な予算執行に努め、学校運営に支障の出ないよう計画的に備品整備を進める。</li> <li>・学校間で共有できる高額な備品については可能な限り共有することにより、経費の削減に努める。</li> </ul>					

番号	5	事業名	教育振興備品整備業務	所管課	学校管理課
事業概要	対象	宗像市内の公立学校の児童・生徒及び教職員			
	目的	児童・生徒への教育効果の向上のため、学校の教職員を通じて学習知識を習得しやすい環境を整備する。			
	事業内容 (手法・手段など)	授業に必要な教材や教育備品を購入する。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>学習活動や授業が充実するための計画的な備品整備は重要である。備品の老朽化への対応は勿論、ICT機器等新たな教育課題に応じて必要となる備品について、学校から要望されるケースが増えると考えられる。学校間のバランスや必要度を考慮し、児童・生徒にとって効果的な整備や効率的な予算執行に努めて欲しい。また、特別支援教育を必要とする個別性のある子どもの学力を、十分に向上させるためにも本事業の予算の活用を求める。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動や授業の充実を図るため、備品の老朽化に伴う更新、新たな教育課題に対応した備品について、学校規模や必要性等を考慮しながら、計画的に備品整備を進める。</li> <li>・特別支援学級の備品整備についても、本事業の予算を有効に活用する。</li> <li>・平成27年度からは教育政策課の所管事業に移管する。</li> </ul>					

番号	6	事業名	成人式事業	所管課	文化スポーツ課
事業概要	対 象	宗像市内に在住する当該年度に 20 歳を迎える市民（新成人）			
	目 的	成人としての自覚を促すと共に、新成人を祝福する。			
	事業内容 (手法・手段 など)	<p>市民サービス協働化提案制度を活用し、宗像青年会議所と協働で成人式を開催している。</p> <p>式典とイベントの構成で実施し、式典は市長の挨拶など、イベントは中学校卒業アルバムを編集したスライドショー（青春グラフィティ）を約 15 分、新成人に大人としての思いを伝えることができる講師を招いた特別講演を 1 時間弱、中学校ごとの記念撮影会を 1 時間弱の内容で実施している。</p> <p>会場外では昨年度から日本郵政とタイアップして「親への感謝状」企画をし、新成人の決意を伝える気持ちを、ハガキに書くコーナーを実施している。</p>			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>全体的にスムーズな運営ができており、現行の方式でよいと思うが、宗像青年会議所に運営を任せるだけでなく、市としての成人式の趣旨を明確に持ち、成人式という場をきっかけに一人一人が自ら考えることの必要性が感じられる内容とすることが重要である。</p> <p>参加する成人の意見が適切に反映されることが望ましいので、決意表明等ができる場を企画が必要である。</p> <p>本市の中学校を卒業していない参加者（市内転入大学生等）でも参加しやすい成人式にして欲しい。</p> <p>成果指標については正確な数値が反映できず妥当性を欠くので、集計方法等を再考して欲しい。それに伴い、アンケートの回収率がもう少し上がる手法の検討が必要である。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗像青年会議所との協働委託はお互いに信頼関係をもって進めており、今後も役割分担をしながら事業運営を行っていく。</li> <li>・講演会について、他自治体では実施していないところが多いが、本市では新成人が大人として自覚でき、未来に夢をもって生きていけるような講演者及び内容を検討し、実施していく。</li> <li>・新成人から意見を取り入れ、代表者に決意表明をしてもらうようにしている。</li> <li>・中学校毎の記念撮影では市内の卒業生でない成人者にも集合写真の機会を設けている。</li> <li>・参加者数を正確に把握する方法及びアンケートの回収率を上昇させる方法を検討する。</li> </ul>					



番号	7	事業名	企業スポーツ支援事業	所管課	文化スポーツ課
事業概要	対象	宗像市内に活動拠点を置く企業スポーツ団体、競技大会及び関連施設 宗像市内に在住するスポーツをする人、観る人、支える人			
	目的	本市に活動拠点を置く企業スポーツ団体が活躍することにより、市のPRとイメージアップを図る。 トップスポーツの鑑賞や交流会等へ参加し、これを応援及び支援することにより、市民の連帯感を高揚させる。 選手による市民への技術指導を行うことにより、市内のスポーツ活動の活性化やトップアスリートの育成に繋げる。			
	事業内容 (手法・手段など)	活動拠点を本市に置き、市と連携協定を締結した全国レベルまたはそれに準ずる企業スポーツ団体、競技大会及び関連施設を支援する。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>企業スポーツ団体を支援することで、トップスポーツの鑑賞機会が増え、市民のスポーツへの興味及び関心が高まると共に、選手による子どもへの技術指導は子どもにとって貴重な機会なので今後も継続することが望ましい。</p> <p>企業スポーツ団体への公費支援については、市民向けの説明会等を開き、十分な説明がなされるようにして欲しい。</p> <p>大会運営費の補助、企業スポーツ団体の地域貢献活動への補助と内容を明確にした上で、安定的に毎年相応額を支出すべきと考える。</p> <p>成果指標については見直しの検討が必要である。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業スポーツ団体への公費支援について、高額な負担金の支出がある場合は市民に十分な説明を行うようにする。</li> <li>・補助金の交付について、現在、交付しているのは観戦する市民へのシャトルバスや市民応援団への負担金のみであり、企業スポーツ団体への直接の補助等は行っていないが、必要に応じて社会貢献事業(幼稚園、保育園、小中学校への指導派遣など)への補助を検討する。</li> <li>・成果指標について、ラグビークリニックやタグラグビー指導など社会貢献回数に変更する。</li> </ul>					

番号	8	事業名	体育施設管理運営事業	所管課	文化スポーツ課
事業概要	対象	施設利用者			
	目的	市民が、体育施設及び学校施設を利用し、多様なスポーツ活動を快適に行なうことができる。			
	事業内容 (手法・手段など)	平成26年度から新たな減免システムがスタートし、より多くの市民が利用できるようになったため、より一層徹底した体育施設管理運営を行う。 平成28年度よりスタートする体育施設予約システムの一元化改修について、他の体育施設を管理している維持管理課と協議を進めていく。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>市民のスポーツ人口は増加しており、利用施設が不足している状況となっていることから、公平な利用機会が確保される環境づくりをお願いしたい。</p> <p>学校施設開放については、今後、より多くの市民が利用できるように体制を構築していくことになるが、教育活動に支障が出ないように留意されたい。</p> <p>使用料の見直しについては定期的に行い、受益者負担が適正なものとなるようにして欲しい。体育施設予約システムの一元化改修については市民に十分な説明を行った上で、利用する市民にとっての利便性、公平性のある予約の一元化の整備を期待する。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設について、公園内スポーツ施設も含め、平成28年度から本市体育協会にて予約受付や許可・収納などの一元管理を行うように進めている。全利用団体に説明会の案内をし、欠席の場合は資料を送付、窓口に来庁した方には個別の説明をするようにしている。また、市広報紙でも周知するようにしている。</li> <li>・使用料の見直しについては随時行っており、利用者だけが利益を享受しないよう、受益者負担の適正に留意している。</li> <li>・一元管理によって今まで学校開放施設のみであったインターネットでの予約が、他の体育施設でもできるようになり利便性が高まる。また、従来の窓口やFAXでの申し込みもできるようにしており、先着予約ではなく抽選予約を行い、市民団体に優先順位を設けるようにしている。</li> </ul>					

番号	9	事業名	教育振興事務	所管課	教育政策課
事業概要	対象	宗像市立小・中学校 補助金、負担金交付先団体及び市民			
	目的	より良い教育を提供できるように、学校経営に必要な情報(学力テスト、学習意識調査の結果)、人(学校運営評議委員会、外部指導者、学校ボランティア等)・モノ(教科書、指導書、教材備品等)を整備する。 補助金・負担金の交付等により、音楽活動や研究活動を支援し、通学定期券補助により保護者への経済的負担軽減を図る。			
	事業内容 (手法・手段など)	学校経営のための客観的データとして学力テストと学習意識調査の結果を提供 授業支援、学校行事支援、授業外の学校活動を支援するためのボランティアの活用を行う。 九州管楽合奏団の芸術鑑賞事業公演料及び校長会がユリックスで行う音楽発表会の経費を補助する。 福岡県中学校放送視聴覚教育研究会、宗像地区小中学校校長会、地島校区漁村留学を育てる会の活動に対する補助金、負担金の交付や離島の中・高・大学生の通学定期券購入補助を行う。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>充実した教育活動が展開できており、補助金、交付金等は適切な執行がなされていると考える。学校ボランティアは学校の教育活動には欠かせないものであるため、中学校のボランティア執行率を改善させる方策を検討することで、今後も予算確保に努めて欲しい。</p> <p>漁村留学の児童は地島の活性化にも貢献しているので、今後も留学児童数を維持できるよう、漁村留学活動のさらなる周知が必要であると思われる。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ボランティアの活用については、中学校よりも小学校でのボランティアの活用要望が高いため、2学期までの執行状況をもとに、予算残が見込まれるものについては、支援を必要としている学校へ再配分して活用してもらうことで執行率を改善する。</li> <li>・平成27年度に漁村留学生在が共同生活を行う施設を新設し、今後も活動が活性化できるように支援を引き続き行う。</li> </ul>					

番号	10	事業名	公民館支援事業	所管課	コミュニティ協働推進課
事業概要	対象	自治会及び自治公民館用地			
	目的	自治公民館新築等への補助、自治公民館用地の草刈業務により自治公民館の整備及び活動の促進を図る。			
	事業内容 (手法・手段など)	自治公民館の整備促進を図るため、新築、増築、改築及びバリアフリーのための改造に対して一定の補助を行う。自治公民館用地8ヶ所の草刈等管理業務を年2回実施する。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>自治会からの申請に対して、要綱に基づいて補助金を交付しており、公民館活動を充実及び発展させるためには施設の整備が必要であるので、現状では現行程度の補助金は必要である。また、高齢者及び障がい者にとって使用しやすい改築を検討していく必要が今後生じると考える。宗像市アセットマネジメント推進計画の方針を鑑み、整備をしていく必要がある。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度中に改築等の定義などについて要綱を改正する。</li> <li>・平成27年度中に自治公民館建築の意思がない自治会の公民館予定地について用途変更を行う。</li> <li>・今後は用途変更後の自治公民館予定地についての維持管理を実施する。</li> </ul>					

番号	11	事業名	海の道むなかた館展示活用事業	所管課	郷土文化課
事業概要	対象	市民、文化団体及び来館者、施設利用者			
	目的	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の知名度を向上させる。 市内の文化活動に関する継承や交流を展開する。 施設から郷土に関する情報発信を行うにより、宗像地域に対する愛着や誇りを持つようにする。			
	事業内容 (手法・手段など)	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の知名度を向上させるため、春や秋の特別展や企画展を開催する。 週末に古代の体験学習を実施する。 本館の賑わいづくりとして夏休み、秋期、正月などに、拡大版体験学習やイベントを開催する。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>特別展、企画展及び体験学習等を実施され、多くの方が来館されたことは高く評価できる。子どもたちが宗像の歴史や文化財を知ることで宗像に興味及び関心を持ち、自分の街に自信と誇りを持てるようになることは、グローバル人材の基礎でもあるので、今後も体験活動を継続することは重要であるとする。</p> <p>世界遺産の知名度向上のために外国人来館者への対応の充実を検討して欲しい。本事業は今後、短中期で重点的に取り組むべき事業だと考えられるので、市民協働を進めている宗像市の特色である市民学芸員の活動を充実し、職員のアイデアを生かすと共に、事業内での効率化を進め、規模及び内容の拡充を図り、事業を継続して欲しい。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル人材の育成のために自分の街に誇りを持てるよう、今後も体験活動事業等を継続実施する。</li> <li>・海の道むなかた館は、世界遺産のガイダンス機能を有しており、今後、多くの方が来館することが予想されるので、外国人を含めた来訪者への周知方法を検討する。</li> </ul>					

番号	12	事業名	海の道むなかた館管理運営事業	所管課	郷土文化課
事業概要	対 象	来館者、施設利用者			
	目 的	<p>快適及び安全に施設を利用できるように施設の維持管理を適正に行う。</p> <p>施設における、教育、普及及び展示活動や体験学習を適正に行えるように施設整備を行う。</p>			
	事業内容 (手法・手段など)	<p>施設の安全な利用及び適切な維持管理を行う。</p> <p>施設運営に際し、ランニングコストの削減に努める。</p>			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>現行通りの方針でよいと思うが、老朽化への対処が大きな課題となっているため、施設及び設備の維持管理を充実させる必要がある。また、より多くの郷土文化財を観ることが可能な施設づくりや高齢者及び障がい者への配慮が必要である。</p> <p>貴重な文化財を保管する施設であるので、必要最低限の改修にとどまらず、優先順位を検討しながら、より適切な整備が望まれる。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <p>・貴重な文化財を保管している施設であるので、改修の優先度を検討しながら、適切な管理運営を行っていく。</p>					

番号	13	事業名	市民図書館管理 運営事業	所管課	図書課
事業概要	対 象	来館者、施設利用者			
	目 的	多様な読書や調査研究など、生涯学習へのニーズが満たせる環境が整備されることで来館者や施設利用者が増加すること。			
	事業内容 (手法・手段 など)	「宗像市民図書館運営計画」に沿って、適正な管理運営事業を行う。			
評価結果		現行どおり			
各委員からの意見等					
<p>「宗像市民図書館運営計画」に沿って、返却場所、開館日を増やすなど市民の利便性を高め、読書に関心を持つ人が多くなるような様々な事業に取り組んでおり、利用者のニーズを客観的に踏まえ運営の工夫をしている点は高く評価できる。今後は子どもや若年層の活字離れ及び読書離れに対する工夫を期待すると共に、ビジネスや高齢者等のニーズに対応した専門書の充実及び物流システムの拡充を図って欲しい。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「宗像市民図書館運営計画」と「第2次宗像市子ども読書活動推進計画」と統合し、子どもの読書活動に重点を置いた「宗像市読書のまちづくり推進計画(仮称)」を平成27年度中に策定し、平成28年度から各種事業を推進する。</li> <li>・新市民図書館管理システムを平成28年6月から稼働し、物流システムの拡充及び管理面・利用面の利便性の向上を図る。</li> </ul>					

番号	14	事業名	読書活動推進事業	所管課	図書課
事業概要	対象	市民			
	目的	市民に読書活動を普及させるため、図書館事業の一部を担うボランティア活動の推進を行う。 生涯学習を推進するため、資料や情報の収集及び提供を行い、市民の自己教育活動を支援すると共に、様々な施設利用者に対する図書館サービスを展開していくため、ボランティアとして参加しやすい環境づくりに配慮し、市民参画及び協働を推進する。			
	事業内容 (手法・手段など)	市民に対して、図書館が生涯学習及び読書支援、生活情報入手の拠点施設となるよう、幅広く資料を収集し提供する。 図書館に対する市民の関心を高め利用者を増やすため、様々な事業を行う。 図書館事業の一部を関係機関やボランティアと連携して行う。			
評価結果	現行どおり				
各委員からの意見等					
<p>読書活動を推進するため、様々な支援がなされ、工夫を凝らして意義ある取組が行われていると感じる。子どもの読解力は、学力等の基礎となるので、今後も読書力の育成を学校と連携して進めて欲しい。</p> <p>高齢者の学習する居場所づくりとしての活動推進等、市民のニーズに応えるため、市民ボランティアと図書司書等が連携する事業を行って欲しい。</p> <p>事業に関しては、子どもや若年層向けに宗像市の特色を活かせる人材を招き、「市内で働く人が選んだ仕事関係の本の読み聞かせ」等の事業を展開していくことを期待する。</p>					
対応方針					
<p>現行どおり事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ボランティアや市民団体と協働して、読書活動を推進していくとともに、関連機関と連携して事業を行っていく。</li> <li>・民間企業のノウハウを活かして連携事業を行い、図書館の利用促進を図る。</li> <li>・雑誌スポンサー制度を維持することにより、図書館資料購入のための財源を確保し、図書資料を充実させ、図書館サービスの向上を図る。</li> <li>・各種ボランティアを養成するとともに、ボランティアのフォローアップとコーディネートを行う。</li> </ul>					